

KYOWA Vol. 108

「2023年度 経営方針」

代表取締役 山口 哲生

2022年は、多くの困難とその解決の難しさを知らされた1年であった。

しかもこれらの問題や課題はこれで終わりではなく、今後益々深刻化していくことが予想されている。

このようななかで、我々の本業であるモノ作り＝製造業（製缶加工物をベースに付加価値を付けていく）は、手作り感のあるアナログ的要素とデジタル化要素（あらゆるデータをベースに合理性のある生産を目指す）の2つの面を持っている。

アナログ的なもので言えば、例えば21世紀の課題であるカーボンニュートラルを目指した新しい素材が生まれるのに合わせ、新しい加工法の開発と施工が新たに必要になってくる。デジタル化であれば、あらゆるデータを組み合わせることによって従来なかった新しいシステムの導入により生産性の向上が可能となる。解りにくい混沌とした時代にあって我々は、今後共成長していく可能性を確かに持っているということが大事なことである。

ここで、来たる年である2023年の経営方針を発表します。

- ①企業間のサプライチェーンのなかで、付加価値と生産性の向上に努め、人とモノへの投資を継続する。
- ②ポートフォリオ経営の推進。
(競争力のあるセグメントを増やし経営の安定を図る)
- ③今後も続く慢性的な人手不足に対し、キョーワベトナムとの連携強化と外国人労働者を含む多様な雇用と働き方に柔軟かつ積極的に取り組む。

— 以上 —

Management Policies for 2023

In 2022, we have learned many issues among us and how difficult it is to solve them. What is worse, those issues are not over yet and still expected to get even more serious. Meantime, we will have to do our business of manufacturing in two ways: practically and logically.

For example, to develop new practical methods of processing is needed as new materials are being invented in this century, where the goal to reach is carbon neutral. In a logical way, on the other hand, we will push the DX by utilizing a variety of data and making a totally new system to improve the efficiency of production. In this chaotic era, having possible choices for the future growth is very important to pull through.

Here are our management policies for the year of 2023.

- 1) Adding more values and the production efficiency and investing in human resources and goods as considering supply chains.
- 2) Enhancing our business portfolio by expanding competitive segments to acquire the stability of management.
- 3) Collaborating with Kyowa Vietnam and answering flexibly the needs of diverse work-and-life styles of our employees, including foreign ones to make up for the continuous lack of workforce.

Tetsuo Yamaguchi
President, Kyowa Kikoh Co.,Ltd.

挑 戦

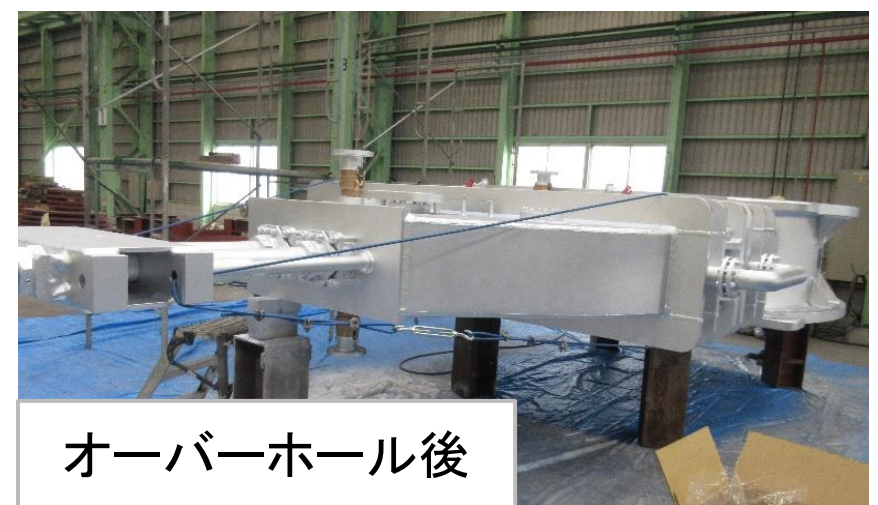
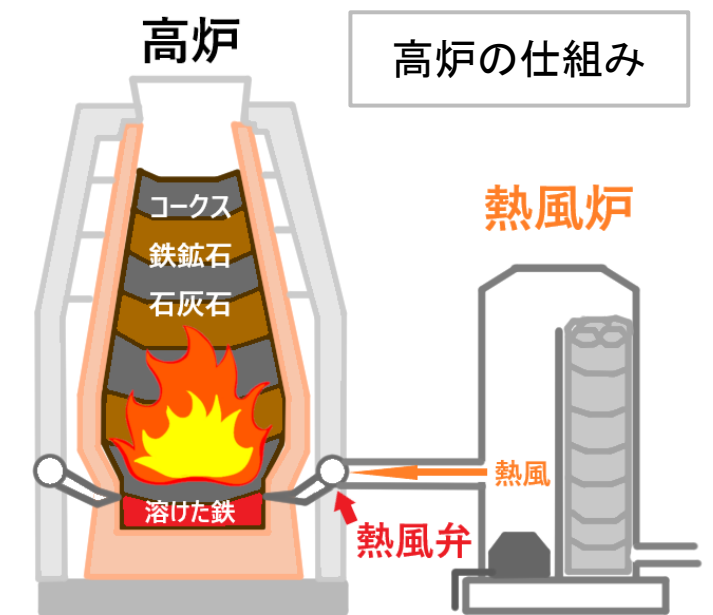
KYOWA

Vol.28 オーバーホール事業2 (バルブ)

オーバーホールとは、古い機械を分解して整備・組立を行い、新品時の性能状態に戻す作業のことです。これにより効率的な運転や安全を維持し、機械をより長く使用することが出来ます。前々号では、パワージャッキのオーバーホール事例についてご紹介しました。バルブのオーバーホールにも積極的に取り組んでおります。引き取ったバルブを分解・点検後、ダメージの程度を確認し、部品の補修又は交換を行います。

下記写真は、熱風弁のオーバーホール作業の様子です。熱風弁は、鉄鉱石を燃やし鉄を作る高炉に使われています。熱風炉で約1000℃以上の熱風を作り、高炉内へ送風する際に熱風を制御するための弁です。熱風を送ることで高炉内の温度を効率よく上げることが出来ます。弁に付着したすすなどの汚れを落とした後、熱風の漏れを防ぐ役割であるパッキンの交換や、弁体の機械加工・溶接などの補修を行いました。

水やガス等、流体の制御に欠かせないバルブは設備において重要な役割を担う製品です。バルブ一つの故障で、設備全体の運用に関わる大きなトラブルにつながる可能性があります。定期的に点検を行う事で、トラブルを早期発見できます。オーバーホールは外観からはわからない内部の劣化を発見できるため、故障による生産設備の停止や事故の予防に効果的です。



KYOWA VIETNAM NEWS



9月までKyowa Vietnamの社長として赴任していた内野学さんの現地レポートです。

2020年1月から2022年9月迄の2年9ヶ月間の駐在を終え帰国致しました。

赴任直後からコロナウイルスの流行が始まり外国への出入国が出来なくなっていました。ベトナムはロックダウンを実行した国ですが、2020年は感染の抑え込みに成功しており、時折制限が掛かりましたが、国内の移動は割と自由に行う事が出来ました。

しかし2021年、ベトナムでも感染者が急増しだすと感染者数に応じて色分けされ、地域単位・区画単位でロックダウンが始まりました。危険区域に指定されると住居から出る事も出来なくなりました。

そして2021年7月、企業活動に制限が掛かります。操業条件を①会社/工場に住み込み、②ホテル等に従業員を1ヶ所に纏めバス等で送迎の何れかとされ、キョーワベトナムは70名程の従業員を25名程に絞り、住み込み操業を選択しました。働きたい従業員に休業を通告したり、休業中の賃金を全額カットしたりと苦渋の決断も行いました。

11月から通常操業が可能となり、実際にキョーワベトナムが通常操業に戻れたのは2022年3月からになりましたが、今年のキョーワベトナムは休業からの反動と、第二工場の操業開始とで活気に満ちています。

また今年はキョーワベトナムでも2年振りに家族会を開催する事が出来ました。

例年に比べ小規模ではありましたが、全員笑顔でバーベキューや催し物を楽しんでおり、何よりでした。

良い経験、悪い経験色々あって2度目の駐在は1度目を超える、濃い駐在員生活になりました。



第32回家族会

—令和4年11月3日(木)—



コロナ禍により2年連続実施できていなかった家族会を、
今年はコロナ感染予防対策に十分配慮し開催いたしました！



開会の前に内定者や
従業員のご家族へ工場をご案内。



山口社長より開会のご挨拶と
乾杯の音頭。

あつあつのおでんと豚汁が大人気で
行列が出来ていました！



毎年恒例になっている、もちつきには大人から子供までが参加し、会場は大盛り上がりでした！

ビンゴ大会



ガラポンまわしに、8名のお子さんが
参加してくれました！



何番が出るかな？



一等賞は井上鉄工/Mさんのご家族が当選されました！



頑張るぞー！

お玉リレー



高木さんチームが
優勝しました！



KYOWA NEWS — 2022.8月～2022.10月 —

特定技能社員入社

4期生(7/25入)



5期生(9/1入社)



O.T.氏 定年退職



佐世保工業高校インターンシップ (2022.10.17-19)



佐世保工業高校の電子機械科より2名が、3日間のインターンシップを体験しました。

大学生インターンシップ(8～9月)



筑波大や沖縄高専など、遠方からも参加いただきインターンシップを行いました。

内定式(2022.10.24)



来年度入社予定の大卒内定者を招いて、内定式を行いました。工場見学や社員との座談会では熱心に話を聞かれていました。皆さんと一緒に働ける日を、社員一同心待ちにしております。

人事通信

—令和4年12月1日現在—



ご誕生おめでとうございます!

令和4年6月生まれ

工務部 工務課
M.K.氏 第二子 次女

M ちゃん



令和4年7月生まれ

管理部
T.T.H.A.氏
工作部 造機課造機3係
L.M.H.氏 第一子 長女

V ちゃん



令和4年7月生まれ

工作部 造機課造機5係
N.V.H.氏 第一子 長女

T.A. ちゃん



人事異動 (敬称略)

◆2022/09/01付

・営業部大阪支店 技術営業
R.K. (旧.工務部 工務グループ)

◆2022/12/01付

・東京支店 営業 主任
N.S. (旧.大阪支店 技術営業(兼) 予算管理センター 予算管理課 主任)



正社員登用 (敬称略)

◆2022/11/01付

・工作部 造機課造機6係 H.Y.